

「サーマル記録技術（第8）部会」

寺尾@アルプスアルパイン（主査）

1. 研究会

2025年度の開催を目指し準備中。前回の研究会で取り上げた基礎の講演は参考になったとともに、学術の観点でこういった研究会の場の提供が学会の役割として重要であることが示唆されたことから、次回の研究会でもサーマルの基礎の講演とともに、最新の技術動向や製品動向を含めて計画していく。

2. 部会

サーマル記録技術部会では、部会にあわせメンバーの所属する企業等の施設見学を兼ねた持ち回りの部会を実施しているが、2024年度はメールベースでの情報交換のみ部会は開催できず。2025年度で仕切り直し。

3. 講習会、学会講演会 活動 トピックス

第88回日本画像学会技術講習会「ニューノーマル時代の画像技術の基礎と応用」にサーマル記録技術部会より講演参加。

アルプスアルパインの本木氏より「サーマルフォトプリンターの小型化とジッター改善の取り組み」のテーマで、フォトプリンタにおけるメカ設計の最新の動向とサーマルプリンタの特徴と用途を紹介頂いた。

日本画像学会2024年度シンポジウム『知ろう、語ろう！イメージング技術の最新動向と新たな価値』にサーマル記録技術部会より講演参加。

ロームの大長氏より「サーマル記録技術のプリントヘッド最新動向」～2024年度～としてサーマルヘッド技術の最新動向を中心に紹介頂いた。

2024年9月4日から6日まで、韓国釜山にて開催されたIS&T主催のAdvances in Printing Technology 2024 国際会議にて講演参加。

アルプスアルパインの鈴木氏より「Decorative printing by on-demand thermal transfer printer with printing width of 12 inches using 1200 dpi thermal head」のテーマで熱転写方式の加飾印刷技術についてその最新動向を報告頂いた。

4.メンバー（R7/1/24現在）

東芝ホクト電子の大庭さんが新規メンバー加入

ブラザー 南さんに加え 水谷さんが新規加入 人数は10名体制

寺尾博年@アルプスアルパイン（主査）

渡邊和宏@京セラ

椿 義徳@ソニー

眞島修@マジマ研究所

寺嶋尚久@富士フイルム

大長章治郎@ローム

太田光洋@大日本印刷

南 明@ブラザー

水谷俊介@ブラザー

大庭真人@東芝ホクト

以上